

業務の新聞

第51号 2020年 2月 8日

感染症対策について

連日報じられている「新型コロナウイルスによる肺炎」をはじめ「インフルエンザ」などの職場における感染症対策について、具体的な対策の早急な実施を求め、支社に対して労働組合として問題提起を行いました。

交代制勤務を担っている職場では“寝具”を共有しています。また職種に関係なく不特定多数のお客様と接し“駅における案内”を行っています。また外国からのお客様に接する機会は増加しています。

各職場では「手洗いの励行」などが会社掲示として掲出されています、「加湿器」を寝室に用意した程度で終っています。

残念ながら「感染症対策」「危機管理」「社員の保護」といった視点を持った支社課員・現場管理者がいないためか具体的な対策が講じられていません。

オリンピック・パラリンピックの開催を目前に迫っています、社員と家族そしてお客様の『安全・健康』を今一度考えて、会社が職場が「今成すべきこと」をタイムリーにかつ確実に実践することを強く要請します。

職場からも声を上げていきましょう！

3. 3春闘集会開催!!

3月3日、2020春闘集会を開催します。

賃金をはじめ労働条件の向上は労働組合に主任務です。

『休みの手配をお願いします!』

仲間たちと共に声を上げ、集い、自らの要求を実現しましょう!!!

会社施策について

「〇〇委員会は“社員育成”が主眼であり、取り上げた課題の成果は問わない」とおしゃる支社課員の言葉を聞き非常に残念に思いました。

労働集約型の鉄道において『現場の力』は文字通りこの会社の根幹を成すものです。わたしたちは「やったよ的な〇〇委員会」では会社の言う“社員育成”もマイナスなるのではと大変危惧しています。

例えば“ダイヤ検討委員会”で安全かつ効率的な行路作成や労働力・技術力の有効活用を職場現実をもとに思考・研究する、そして業務を担う社員の健康に十二分に配慮する。ということが求められると私たちは考えます。現実的には、社員の声も聞かず、“資料と評した紙”を渡されただけで集まって“ひとつのこと”を論じることも無く…。この『否定的内容』でこの会社の社員育成が出来るのでしょうか？

「技術継承」と言われてかなりの時間が過ぎて行きました、各職種において「技術継承」はどの程度進んでいるのでしょうか？

「業務委託の拡大」「グループ会社と一緒にした業務の推進」などにおいても『サービスレベルの低下』を指摘する職場の声を聞きます。

皆さんはどのように感じていますか？

「会社施策」として多くの柱が打ち立てられています。それは『何を成すための柱』なのでしょうか？

より良い職場とより良い会社を創造するために、土台・柱・梁・屋根・壁を職場から創りましょう！

企画・設計・施行・メンテナンスを担うのはわたしたちです!!!